

# コンテンツ・地域資源を活用した (独) 造幣局の取組及び今後の可能性

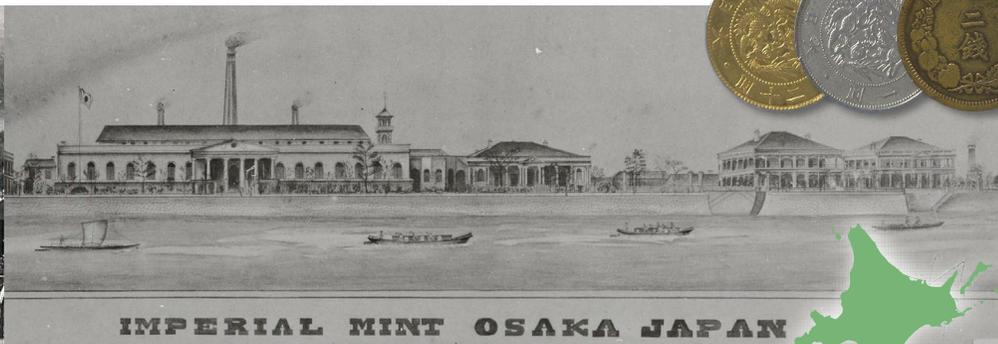
(新たな収集向け貨幣による「日本の魅力」の発信)





# 1. 造幣局の概要

- ◆ 近代国家としての貨幣制度の確立を図るため、明治新政府によって現在地（大阪市北区）に創設され、明治4（1871）年に創業式を挙行。当時としては画期的な洋式設備によって貨幣の製造を開始 **》》** 令和3（2021）年に創業150周年を迎えている。



## ◆ 財務省所管の独立行政法人

- 造幣局は、「独立行政法人造幣局法」（平成 14 年法律第 40 号）において、通貨制度の安定に寄与することを目的として、財務大臣の定める製造計画に従った貨幣の製造及び販売用貨幣の販売等を行うこととされており、通貨行政の執行機関として位置付けられている。



- ◆ 大阪府、埼玉県、広島県に工場を有する  
⇒ 大阪府に本局を設ける唯一の政府機関



◆ **主たる事業:**

- ・ 貨幣の製造 → 
- ・ 貨幣セットの製造・販売
- ・ 勲章・褒章・金属工芸品の製造
- ・ 貴金属製品の品位証明 ↓



・ オリンピック・パラリンピック競技大会の入賞メダルも製造

◆ **事業の特徴:** 国の財源 (補助金・交付金) に依存せず、独立採算として事業を実施し、国に財政貢献 (国庫納付)



## 2. 我が国の収集向け貨幣の現状「記念貨幣」

- ◆ 記念貨幣 ≫ ≫ ≫ 「国家的な記念事業として閣議の決定を経て発行する貨幣」  
(通貨の単位及び貨幣の発行等に関する法律 (以下、通貨法) 第五条)
- ◆ テーマ ≫ ≫ ≫ 皇室の御慶事、国家的なプロジェクト・行事等



明治150年記念千円銀貨幣  
(平成30年)



天皇陛下御即位記念貨幣  
一万円金貨幣・五百円貨幣 (令和元年)



2025年日本国際博覧会記念貨幣 (第三次)  
(令和7年)



国立公園制度100周年記念千円銀貨幣  
(令和6年~13年に全公園分を発行予定)



沖縄復帰50周年記念千円銀貨幣  
(令和4年)

### 3. 企画品による「日本の魅力」の発信

#### 造幣局

#### 貨幣セットの製造

- 主目的: 貨幣製造事業の紹介とともに、貨幣に対する理解を深めてもらう。
- より多くの方に関心を持っていただけるよう、また、国内外の多様なニーズに応えるべく、アニメ、映画、漫画等のコンテンツや地域資源をテーマとするものも企画。

#### メダルの製造

- 主目的: 新製品の開発等を通じ、偽造防止技術をはじめとする貨幣製造技術の維持・向上に繋げる。
- 地域資源をテーマとするものも企画。

コンテンツ・地域資源等の「日本の魅力」を発信する、ツール・プラットフォームとして一定の役割を果たしている。



### → ゴジラ70周年貨幣セット (令和6年)

#### ・プルーフ貨幣セット

※表面に光沢を持たせた貨幣を組込んだもの

銀メダル



- ✓ 販売価格: 15,500円 (消費税・送料込)
- ✓ 販売数量: 29,000個

TM & © TOHO CO., LTD.

#### ・通常貨幣セット

銅メダル



- ✓ 販売価格: 2,900円 (消費税・送料込)
- ✓ 販売数量: 50,000個



TM & © TOHO CO., LTD.

#### ◆ その他のテーマ例

鉄腕アトム誕生、ハローキティ生誕30年、宝塚歌劇100年、ジャングル大帝テレビ放送50年、夏目漱石生誕150年、映画「男はつらいよ」、史跡名勝天然記念物保護100年、エヴァンゲリオン2020、ワンピース2022、阪神甲子園球場100年、各世界遺産の登録 (平成7年~)



# メダルの製造

テーマ：地域資源（国宝）



平成19年から全国の国宝及びそれに付随する文化財をテーマとするメダルを製造



法隆寺



姫路城



厳島神社



日光東照宮



中尊寺



富岡製糸場



沖ノ島祭祀の奉献品



大浦天主堂



慈照寺（銀閣寺）



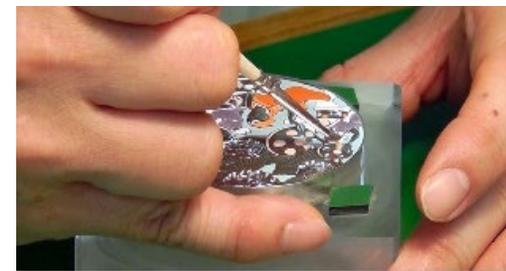
鳥獣人物戯画



# メダルの製造

テーマ：地域資源（祭り）

→ 勲章製造に用いる七宝技術を活かし、平成21年から各地の祭りをテーマとしたメダルを製造



天神祭



仙台七夕まつり



青森ねぶた祭り



神田祭



秋田竿燈まつり



阿波おどり



エイサーまつり



長崎くんち



山形花笠まつり



越中八尾おわら風の盆



## 4. 貨幣による更なる発信に向けた検討

- 貨幣の発行権者は政府であり、法的な額面価格を与えられたものという点において、前述の貨幣セット・メダルとは別格の価値を有する。



- 新たに、より多くの関心を捉えるコンテンツ・地域資源等をテーマとする収集向けの「貨幣」を製造することができれば、国内外において、「日本の魅力」を発信する、格段に強力なツール・プラットフォームとなり得るのではないか。
- テーマとしては、コンテンツ・地域資源に加え、その他文化（芸術、デザイン等）、歴史、自然、科学技術・イノベーション、社会課題、スポーツ、偉業等が考えられる。

- より多種多様な貨幣の製造を可能とするためには、通貨法の改正が必要となる。現行法においては、収集向け貨幣（記念貨幣）の発行自体が「国家的な記念事業」と位置付けられている。

## 国内のお客様等の声

### ◆ お客様アンケート（貨幣セット通販購入者1,500名に対し年1回実施）

- プルーフ貨幣セットのメダルを500円とか千円のプルーフ貨にしてみたい。
- プルーフ貨幣セットのメインをメダルから1000円硬貨に変更（デザインは種類毎）。
- 地方活性化のため地域特有のものを希望。

### ◆ お客様との懇談会（記念貨幣等購入者に対し年数回実施）

- 外国ではキャラクターや文化に関する記念貨幣が柔軟に出ているが、日本ではキャラクターの記念貨幣を出すことはできないのか。

### ◆ 造幣局事業認知度調査（2,400名程度の一般の方に対し年1回実施）

- 若い人や海外の方に人気のある漫画やアニメのキャラクターなどの硬貨の販売をすれば、今よりもっと興味をもつ人が多くなるのではと思っています(50代女性)。
- 日本の文化になりつつあるアニメなどの記念硬貨がでたらいいです(50代女性)。
- 人気アニメとのコラボレーション記念通貨(40代男性)。
- 伝統的な美しい感覚を守りつつ、常に新しさを求め挑戦し続けてほしいです(20代女性)。面白い通貨を作ってほしい(40代男性)。
- 様々なジャンルの硬貨を製作してほしい(40代男性)。楽しいものを作ってほしい(40代男性)。

### ◆ 日本貨幣商協同組合との会合（年1回程度実施）

- 収集型貨幣として自由なテーマで製造した貨幣は人気があるだろう。
- これまでに海外造幣局が製造したアニメ貨幣はあるが、アニメの本場である日本の造幣局が製造することに意義がある。

これらに加え、アニメやキャラクターをテーマとする製品を求める声多数あり。



## 海外からの声

- 日本文化・漫画に関わるテーマは欧州市場で非常に人気。観光名所を取り上げたシリーズも推奨する。日本に行きたいが時間や金銭的な都合で日本に行けないので、代わりに日本の名所が描かれた貨幣を購入するという購入動機がある。富士山の歴史等をはじめ、日本の伝統、自然、世界遺産を推奨する。様々な制約があることは十分承知の上だが、日本には豊富な歴史的・文化的遺産があるからこれらをもっと取り扱うべきだ。（独・貨幣取扱業者）
- サムライや日本の衣食、アニメをモチーフにした貨幣はどうか。（伊・貨幣取扱業者）
- 収集型貨幣のテーマとして、歴史的建造物、ロボットといったものも面白い。（豪・貨幣取扱業者）
- 記念貨幣の製造発行にかかる諸制約はあるだろうが、欧州の収集家はメダルではなく、やはり貨幣であることを重視する傾向がある。（蘭・貨幣取扱業者）
- 弊社では、ポップカルチャーを題材とした製品が人気。（スペイン・貨幣取扱業者）



# 5. 諸外国の収集向け貨幣

## 多種多様な貨幣

自国に関するものを積極的に国内外に発信



英国  
ハリリー・ポッター空飛ぶ鍵 50ペンス銀貨  
(2024年)

フランス  
ピエール・エルメー・マカロン 20ユーロ銀貨  
(2023年)



英国  
伝説のミュージシャン<ジョン・レノン>  
2ポンド銀貨 (2025年)



スペイン  
パブロ・ピカソ没後50周年「両腕を上げた女」  
50ユーロ銀貨  
(2023年)



フランス  
ノートルダム大聖堂の再建 10ユーロ銀貨  
(2024年)

## 日本に関するものもテーマに

⇒日本市場においても販売



スペイン  
鉄道の歴史 1.5ユーロ白銅貨  
東海道新幹線 (2021年)



クック諸島  
北陸新幹線  
金沢・富山ー東京開業  
25ドル銀貨  
(2015年)



クック諸島  
東海道新幹線 25ドル銀貨  
(2014年)



フランス  
ユネスコ80周年 <首里城>  
10ユーロ銀貨 (2025年)



フランス  
ハローキティ50周年 10ユーロ銀貨 3種セット  
(2024年)



クック諸島  
名探偵コナン20周年 2ドル銀貨  
(2016年)



クック諸島  
「男はつらいよ」55周年  
10ドル銀貨  
(2024年)



# (参考) 主要行事等

## ◆ 製造貨幣大試験

製造した貨幣の量目が公差の範囲内にあるかどうかを、毎年財務大臣が執行官となって試験している。明治5年の第1回目以降、試験結果はすべて適正となっている。令和8年は第155回目にあたる。



## ◆ 桜の通り抜け

明治16年から毎年春の一週間、八重桜を中心に植栽した全長約560メートルの本局構内通路（142品種、340本）を一般開放し、大阪春の風物詩として多くの人に親しまれている（令和7年来場者数：19.8万人）。



※両支局においても桜の一般公開を行っている。

## ◆ 工場・博物館見学

造幣博物館（大阪本局）では、大判・小判などの古銭をはじめ、日本の貨幣・外国貨幣など約15万点を収蔵（うち約4千点を展示）。



※両支局にも博物館・展示室あり。